

## 会議録

令和7年度 大井川児童センター運営委員会		日時	令和7年7月28日(月) 14時～15時
		会場	大井川児童センター とまとぴあ ホール
議事	(1) 焼津市大井川児童センター令和6年度事業報告について (2) 焼津市大井川児童センター令和7年度事業計画について		
出席者 (13人)	【委員(敬称略)】8名	池谷 廣 大井川東自治会宗高区 区長 渡邊 英昭 大井川東小学校 教頭 原田 早希 大井川保育園 保育士 増田 智昭 静浜幼稚園 教諭 見原 早由利 主任児童委員部会 油井 きみ代 ボランティア 愛つなぎ会 半田 しずか 乳幼児保護者 施設利用者代表 丸山 宏枝 小学生保護者 施設利用者代表	
	【事務局】5名	山梨 のぞみ 子育て支援課 課長 兼 大井川児童センターとまとぴあ 館長 吉田 恵理香 子育て支援課 子育て政策担当 係長 鈴木 和希 子育て支援課 子育て政策担当 主任主事 田中 りりか 子育て支援課 子育て政策担当 主事 高橋 みち子 大井川児童センターとまとぴあ 児童厚生員	
欠席者(2人)	【委員(敬称略)】	内田 いつ乃 焼津市教育センター センター事業指導員 朝倉 純 社会福祉法人焼津市社会福祉協議会大井川支所 主事	

- 1 開会
- 2 委嘱状伝達
- 3 子育て支援課長挨拶

—会長・副会長選任—

**【司会者】**

会長、副会長の選任についてであります。設置要綱第4条の規定に基づき、互選により選任することになっておりますが、御意見がある方いらっしゃいますでしょうか。

**【増田委員】**

これまでの御経験などから、会長には大井川東自治会宗高区長の池谷委員を、副会長には焼津市立大井川東小学校の渡邊委員を推薦したいと思います。

**【司会】**

ただいま、会長に大井川東自治会宗高区長の池谷委員を、副会長には焼津市立大井川東小学校の渡邊委員の御推薦がございましたが、御異議ございませんでしょうか。よろしければ拍手をもってお願いします。

(拍手)

**【司会】**

ありがとうございます。それでは、会長に大井川東自治会宗高区長の池谷委員を、副会長には焼津市立大井川東小学校の渡邊委員にお願いします。

それでは、早速ではあります。焼津市大井川児童センター運営委員会設置要綱第4条第2項により、会議の進行は池谷会長にお願いいたします。

池谷会長、よろしくお願ひいたします。

4 議事

**【池谷会長】**

それでは議事に入ります。本日、案件は2件です。まず、「令和6年度の大井川児童センターの事業報告について」です。事務局は、説明をお願いします。

**【事務局】**

まず、表紙裏面にある画像ですが、昨年5月11日に開催しました開館20周年記念式典の様子です。大井川町時代の2004年のオープンから、多くの子どもたちに利用していただ

き、おかげさまで来月8月中には来場者80万人を達成する見込みとなっております。

下の画像3月に実施しましたピクニックテーブルとベンチ作りのワークショップの様子です。詳しくは事業実績においてご説明させていただきます。

それでは焼津市大井川児童センター令和6年度事業実績についてご報告させていただきます。1頁、第1号議案をご覧ください。

令和6年度は35行事を実施し、合計で1,514人の方に参加いただきました。

3頁、下部の事業参加者数の表をご覧ください。令和5年度の事業参加人数は、989人でしたので、525人、53.1%の増となりました。

令和6年度から新たに実施した行事としましては、No.16「サードプレイス事業」を10月から3月まで実施し、62人の市民に参加いただいています。これは、教育委員会学校福祉部子ども支援課が行っている不登校児童生徒の支援活動の実施場所として市の子育て支援施設である児童センターを利用したものです。家庭・学校以外の居場所として、1歩を踏み出せるよう工作や遊びの提供やイベント等への招待を行いました。

No.32「みんなで作ろう&食べよう」は明治安田生命保険相互会社様が地域に「つながり」や「ふれあい」、「ささえあい」の機会創出により地域課題の解決に貢献することを目的に実施している「私の地元応援募金」として焼津市の「子育て支援」にいただいた寄附金により、地元の手作り家具業者さんを講師に迎えて、子どもたちの手で中庭のピクニックテーブルとベンチを作成するワークショップを実施し、33人の参加がありました。

また、令和5年度から実施している「こどもかいぎ」は9回実施し、149人の参加がありました。子どもたちが主体となりやってみたいことや何をして遊ぶかを話し合い、ドッジボールなどの遊びの中で、意見交換や他校の児童との関わりから子どもたちの自主性が育まれました。

「放課後の居場所づくり」は10回実施し、208人の参加がありました。放課後を利用して、体を使い遊ぶことで仲間づくりと子どもたちの居場所を創出しました。

3ページをご覧ください。令和6年度の利用状況となります。

上の表の中央：児童利用者数 合計Aは10,562人で前年度と比較しまして543人、5.4%の増となっております。その右側、保護者を含めた総数、利用者合計A+Bは12,604人で、前年度と比較しまして674人、5.6%の増となっております。新型コロナによる外出自粛要請により過去最低となった令和2年度から、順調に回復し、コロナ禍前の利用状況に戻っております。

児童学齢別利用者数（表の左・その下に棒グラフ）では、小4までの利用者が多く、高学年になるにつれて利用者が減少していますが、高学年になると塾や習い事で忙しくなることや興味が徐々に他のものに移ることなどが推測され、高学年児童の利用者数の減少は致し方ないところもあると考えております。

月別利用者数（中央の棒グラフ）では、例年同様であり、夏休み及び春休みの長期休暇の利用者が多い状況です。

次に学区別児童利用者数（中段）は、児童利用者 10,562 人の約半数の 48.8%が大井川地区（東・西・南・大井川中）の児童・生徒となります。その中でも、地元の大井川東小の児童が 33.9%を占めています。平日は大井川地区の子どもたち、土日祝日は市内のその他の地区や藤枝市、吉田町、島田市等の近隣市町、そして、学校の長期休暇中は静岡市、牧之原市など県中部地区からの利用者が多くなります。

4 頁をご覧ください。令和 6 年度の団体利用の実績です。大井川南小学校の 1 年生と特別支援学級の施設見学及び放課後デイサービスの利用があまりました。6 頁の合計欄をご覧ください。表の中央部最下段ですが、小中学生が 458 人、高校生、先生や指導員を含めた実績は、表の右側最下段となりますが計 726 人でございました。前年と比較しますと 37 人、4.8%の減となっております。

7 頁をご覧ください。併設する子育て支援センターの利用状況となります。表の右側上から 3 行目になりますが、年間で 26,807 人の親子の利用がありました。1 日で 37 組の利用となります。児童センター同様、前年度と比較しまして 621 人、2.4%の増となっております。地区別ではこちらも地元の大井川地区の方が約 18.8%と高い割合となっております。

児童センター利用者 12,604 人と合わせまして、年間 39,411 人（前年 38,116 人・対前年度比 103 パーセント）の方にとまとびあをご利用いただきました。

#### 【池谷会長】

ただいま事務局の説明が終わりました。令和 6 年度大井川児童センターの事業報告について、御意見御質問ありましたらお願いいたします。

#### 【渡邊委員】

学校でも、子どもたちからとまとびあのお話を聞いたり、毎月おたよりをいただいたりして、今後も楽しみにしています。

#### 【池谷会長】

利用人数は、建物に入った人数ですよね。公園に行く子どもたちは数には反映されていないということですが、一体ですのでそういう意味では、もっともこのエリアを利用されている子どもたちが多くいるということですね。

次に、「令和 7 年度の大井川児童センターの事業計画案について」です。事務局は、説明をお願いします。

#### 【事務局】

続きまして、第 2 号議案 令和 7 年度事業計画についてご説明させていただきます。8 頁をご覧ください。

12 事業、全 54 回の事業実施を予定しており、このうち、15 回の事業については既に実

施済みとなっております。

No.1「こどもかいぎ」は全8回を予定し、地元の子どもが中心となって継続的に参加することができるように平日の夕方に実施しています。No.3「スペシャルチャレンジデイ」は4月から3月まで毎週水曜日の実施とし、普段より少し難しい工作に挑戦したり、体を動かしたり、様々な学年や地域の子どもと交流することができるよう計画をしています。

ここ数年は新型コロナの影響でボランティアについてはご遠慮いただくような状況になっていましたが、今年度は地元の「愛つなぎ会」様をはじめ、生きがい・交流部スマイルライフ推進課の青少年ボランティア人材バンクに登録者の中・高校生さんに、既に、延べ31人御参加いただいております。今後も積極的にお手伝いをいただきたいと考えています。

また、感染症予防対策について御説明いたしますと、新型コロナが5類感染症に位置付けられ約2年となりますが、皆様に、安心してご利用いただけるよう、貸出おもちゃのこまめな消毒や、閉館後のドアノブ、窓ガラス等の清掃、除菌ボックスやオゾンクラスターによるおもちゃの除菌・消毒など、丁寧な対策を継続して実施しております。来館される皆様には、手洗いの呼びかけなどさせていただいており、今後も事業実施に当たりましては、感染症対策を継続し、安全・安心な運営に努めてまいりたいと考えています。御協力をお願いします。

そのほか、常葉大学短期大学部様の実習について、今年度も8月13日から24日の10日間、3名の受け入れを予定しています。丁寧な指導をさせていただきと考えております。以上でございます。

#### 【池谷会長】

事務局の説明が終わりました。「令和7年度の大井川児童センターの事業計画案について」、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

#### 【池谷会長】

ありがとうございました。ただいま事務局より説明が終わりました。令和7年度の大井川児童センター事業計画について御意見御質問ありましたらお願いいたします。

#### 【半田委員】

子育てをされていて不安に思っていることは、昨年南海トラフ巨大地震臨時情報を受けて、私は初めてハザードマップを見ました。周りの保護者に聞いても、見たことがないという人が多く、地震、津波がくる地域であるのに、焼津に来る前は藤枝に住んでいたため、今まで津波の怖さを感じたことがなく、津波が来るエリアに前から住んでいる方でも、あまり防災意識がない。小学校では避難訓練を行っているが、子どもだけでなく親も災害が起こった時の避難の仕方など触れ合う機会があればいいと思いました。

#### 【事務局】

市としても、お子さんをお預かりする施設のため、業務継続計画など様々な場合の対応マ

マニュアルを作成しています。不審者対応マニュアル等は整備して児童センターに置いてあり、意識の共有をしています。訓練も定期的に行っておりますので、施設としてお子さんの命を第一に考えています。

#### 【池谷会長】

児童センターは近い地域の方が利用するだけでなく、市外の方も利用する施設であるため、ハザードマップは施設のどこかに掲示しておくといいのではないのでしょうか。ハザードマップを見たことがない人も多く、せっかくいろいろな人が来る施設であるため可能であれば掲示したほうがいいと思います。

#### 【事務局】

昨年度の南海トラフ巨大地震臨時情報が出たときは、市長から、防災マップを施設内に掲示するよう指示があり掲示していました。今後は通常時も貼るようにします。

#### 【丸山委員】

自分の子どもが中学生と小学校高学年になり、前よりとまとびあを利用する機会が減ってきましたが、子どもが小さい時は、よく利用させていただいていました。

子どもが小さい時はずっと家にいると、話す機会が少なくなり社会に取り残された気持ちになってしまうことが多かったんですけれども、とまとびあでお母さんたちと話したり、先生方と話したりすることで、社会から離れてないと感じることができました。子どもだけではなくお母さんたちにとっても居場所なんじゃないかなと自分は思って利用させてもらっていました。

#### 【事務局】

今は、学校に行く選択をしないお子さんも多いです。教育委員会においても学校に復帰することが第1の目的ではなくて、お子さんが社会人、大人になるのに困らないように方針を方向転換しています。そういった意味では、子育て支援施設や他の公共施設と連携して、一歩でも家から外に出ることができるようにと支援をしていくことができるように努めていきます。とまとびあもその支援の一つの場所です。

#### 【増田委員】

幼稚園の職員という立場からいくと、幼稚園が終わった後に、〇〇くんととまとびあ行ってくるみたいな話はよく聞きますので、やっぱり居場所作りというところでは子ども同士で幼稚園が終わった後にも行く遊び場にもなっていますし、保護者同士としてもお金がかかるわけではないので、自然と集まる場所になっているところが本当に職員から見ても思っています。

自分も 1 年間育休を取った時に保護者としてとまとびあを活用していた時期もありまして、育児をしていると子どもとだけしか関わらない中で、とまとびあに遊びに来ることで、職員の方が気さくに話しかけてくださって、そういうところで社会との繋がりが保たれているというところが、本当にありがたかったなと感じています。

地域の居場所としてすごく確立された場所になっているなと職員目線と保護者目線かあら感じました。

#### 【事務局】

職員としては、子どもたちと一定の時期しか関わることしかできないですが、長い人生の中でとまとびあで遊んだな、楽しかったなと思っただけの施設にしていきたいと思います。

#### 【原田委員】

私は、大井川保育園に今年の 4 月から異動してきまして 3 月まで小川保育園にいたのですが、その園児も休みの日にとまとびあに行ってきたよって言う話をよく聞いていたので、ちょっと遠いのに遊びに行くんだって思っていたのですが、大井川地区の子どもだけではなく、もちろん市外の方も集まって遊べる施設があるのはとてもありがたいと思います。この夏も毎日のように熱中症警戒アラートが出ていますが建物の中で体をたくさん動かして遊べるっていうのはすごく重要だと思っているので、トランポリンとかで楽しく遊んできたんだっていうのがわかるようなお話を多く聞いていました。本当にいつもありがとうございます。

#### 【油井委員】

先日、イベントがありましてそのお手伝いをさせていただきました。受付をやっていたのですが、そこへ小学校 1 年生から中学生の子までが、受付を通っていきますが、その日のイベント楽しみでしょうがないっていう顔をして、50 人近い子どもたちが次々とやってきてくれて、本当に楽しそうで、その子たちはもう何年も利用していて、小さい頃からずっとここで過ごしてきていて、その子たちの居場所になっているとすごく感じました。とまとびあは楽しめる場所でもあり、安心できる場所であるかなっていうのを思いました。その安心というのは、スタッフ職員の皆さんが安心できる空間を作ってくれているからだということを感じました。

時々イベントのお手伝いで感じることは、職員の人に相談している子どもを見るんですよ。職員がわかりやすく答えているのを見て、子どもたちは安心してとまとびあに来られるんだなというのもよく感じます。

#### 【見原委員】

私は主任児童委員とは別に、見守り隊や学校での読み聞かせをさせていただいています  
が、その経験を通して、こども会議や放課後の居場所作りは本当に子どもにとって、自分  
たちがまんなかになれるっていうのを体験できるとても素敵な企画だと思います。そんな企  
画をありがとうございます。

例えば読み聞かせや見守り隊のときには、子どもたちと直接触れ合うことはほとんどな  
いんですけども、違う場面ときには、例えば放課後児童クラブに行かせていただいたとき  
に、「読み聞かせの人だね」「何年何組に来てくれた人だね」「見守り隊をしてくれているよ  
ね」とか私が本当に驚くほどに子どもの方から声をかけてくれます。

ですので、子どもたちで意見を出し合う企画をしていただけるのは、子どもにとって大人  
が自分たちのことを大切に思ってくれているんだなと伝わる機会だと思いますので、大変  
とは思いますが、今後ともよろしくお願いします。

#### 【渡邊委員】

とまどびあでこういうことできるよ、トランポリンはすごいみんなできて面白いよっ  
ていうのを、もちろん大井川東小学校の子から聞いたりすることが多かったのですが、以前  
勤務していた市内の別の小学校でも聞くことが多くて、大井川地区にある施設なんですけ  
ど、市内全域にも広まっている施設になっているかなと思います。そういった意味で本校は  
利用している子が多くいて、何々できるよと具体的に自分の経験を言葉にして言えるっ  
ていうのは強みかなと思います。今年度もいろんな企画を昨年度に引き続きしていただ  
けると大変ありがたいなと思います。

#### 【池谷会長】

これだけたくさんの方が利用しているってあんまり知らなかったので、個人的にやっ  
てほしいなと思うのは、そういうことをもっと積極的に情報を発信していくってことだ  
と思うんですね。

それから、もう一点はこの地域は児童センターや子育て支援センターなど他市町にも同  
じような施設がありますよね。施設の間のネットワークとか何か連携をとることができれ  
ばすごくいいなと思います。

それでは皆様から頂いた御意見を参考に事務局には今後運営をしていただきたいと思  
います。それでは本日の議事は以上で終了いたします。委員の皆様、会議の進行にご協力  
いただきありがとうございました。

## 6 閉会

